

中期計画2020 説明会

2017年11月17日

DOWAホールディングス株式会社

はじめに

株主・顧客・従業員・地域社会に貢献する

価値ある社会的存在として歩み続けるために

目指す姿の実現に向けて

成長の継続

経営資源の積極投入

成長分野・成長地域
グローバルな時代のニーズ

強くしなやかな事業基盤

外部環境の変化に強い事業ポートフォリオ
堅固な財務基盤

現中期計画（2015～2017）の振り返り

▷主要施策は着実に実行

海外事業のさらなる拡大

- 環境・リサイクル** ミャンマーでの埋立処分場操業開始、シンガポールの新炉稼働
- 金属加工** 海外拠点を活用した中国・タイ市場への拡販、めっき事業のメキシコ進出
- 熱処理** 熱処理事業のメキシコ進出、インドでの熱処理拠点の拡充

成長市場・周辺分野への展開による事業拡大

- 電子材料** 燃料電池向け電極材料や深紫外LEDなど新規製品の採用拡大
- 金属加工** スマートフォン向けや自動車向け銅合金・めっきの拡販

事業競争力の継続的強化

- 環境・リサイクル** 低濃度PCB事業での新炉稼働、自然由来汚染土壌の事業化推進
- 製錬** 秋田製錬の焙焼炉更新、PGMリサイクルの新炉稼働、鉍山開発の推進
- 電子材料** 太陽光パネル向け銀粉の設備増強と拡販

中期計画2020（2018~2020）

引き続き事業基盤の強化を図るとともに
さらなる成長に向けて経営資源を積極投入



底堅さと成長性を兼ね備える企業へ

基本方針

■ 成長市場における事業拡大

「自動車」、「情報通信」、「環境・エネルギー」および「医療・ヘルスケア」の各分野へ経営資源を積極的に投入する

■ 既存ビジネスでの競争力強化

成熟した国内市場における事業対応力の強化と製錬・リサイクル複合コンビナート機能の深化により既存事業の収益力をより一層高める

成長市場における事業拡大① トレンド

▷各分野それぞれに変化を伴いながら市場は拡大

自動車

ガソリン車・ディーゼル車

次世代自動車への移行

情報通信

IoT関連部品

高度化、小型化、薄型化

環境・エネルギー

環境意識の高まり

世界的な環境規制の強化
クリーンエネルギーへシフト

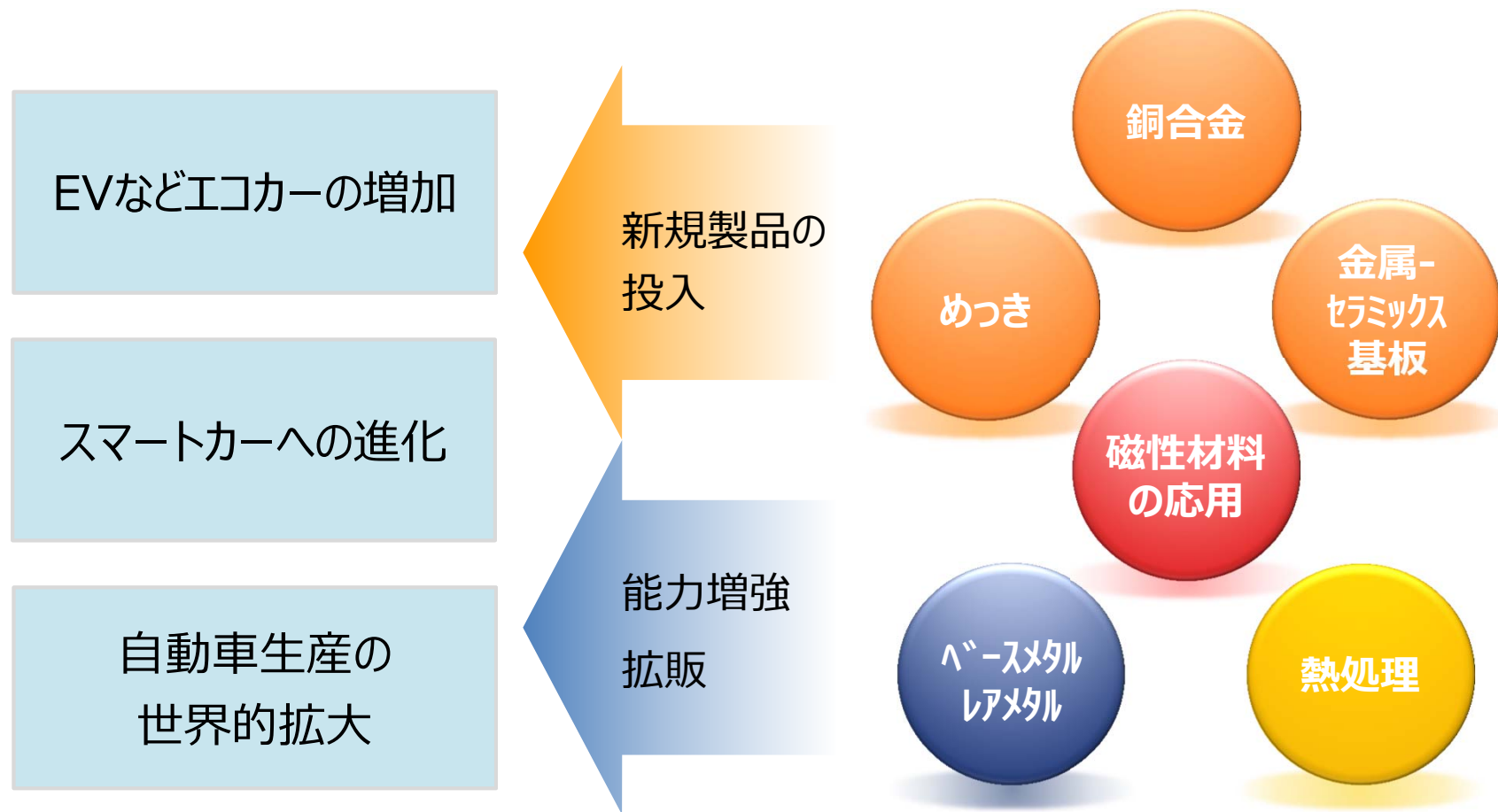
医療・ヘルスケア

病院での治療

予防・健康増進へのシフト

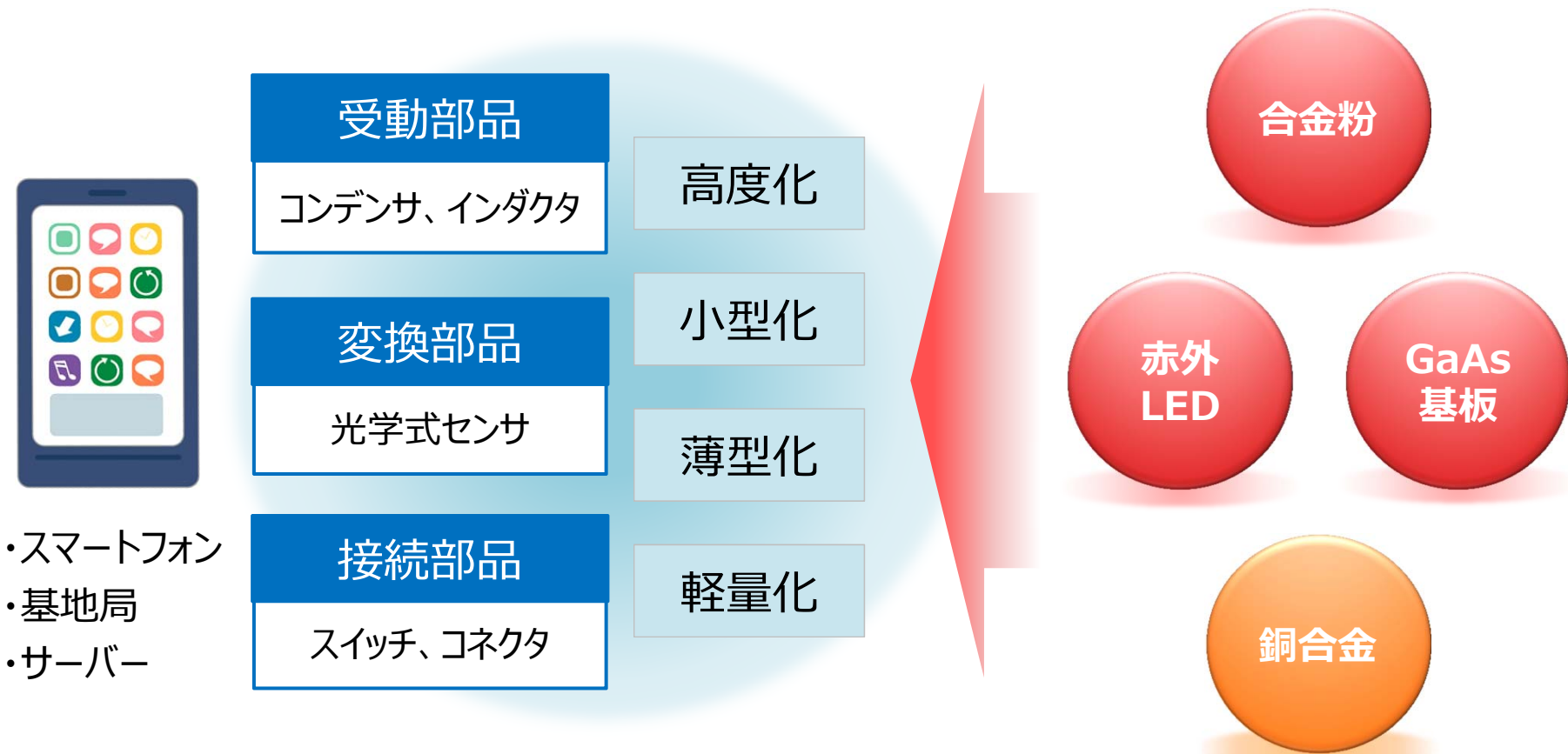
成長市場における事業拡大② 自動車

- ▷ 自動車の進化に呼応した新規製品の投入
- ▷ 市場拡大をとらえた能力増強と拡販



成長市場における事業拡大③ 情報通信

▷製品力・開発力を活かし、変化し続けるニーズに対応



部品の進化に伴って、材料ニーズが変化

成長市場における事業拡大④

環境・エネルギー

東南アジアの廃棄物処理

▷既存事業の拡大、新規展開の推進

インドネシア第2処分場の立ち上げ、焼却施設の導入
タイにおける有害廃棄物処理の拡充（埋立・焼却）
周辺国への事業進出



太陽光パネル向け銀粉

▷品質優位性と供給力で高シェアを堅持



医療・ヘルスケア

▷ウェアラブル端末のヘルスケアセンサや殺菌・滅菌機器に向けた新規LEDを開発・量産



既存ビジネスでの競争力強化

- 成熟した国内市場における事業対応力の強化
- 製錬・リサイクル複合コンビナート機能の深化

メキシコでの亜鉛鉱山の建設・操業開始

リサイクル原料集荷拡大

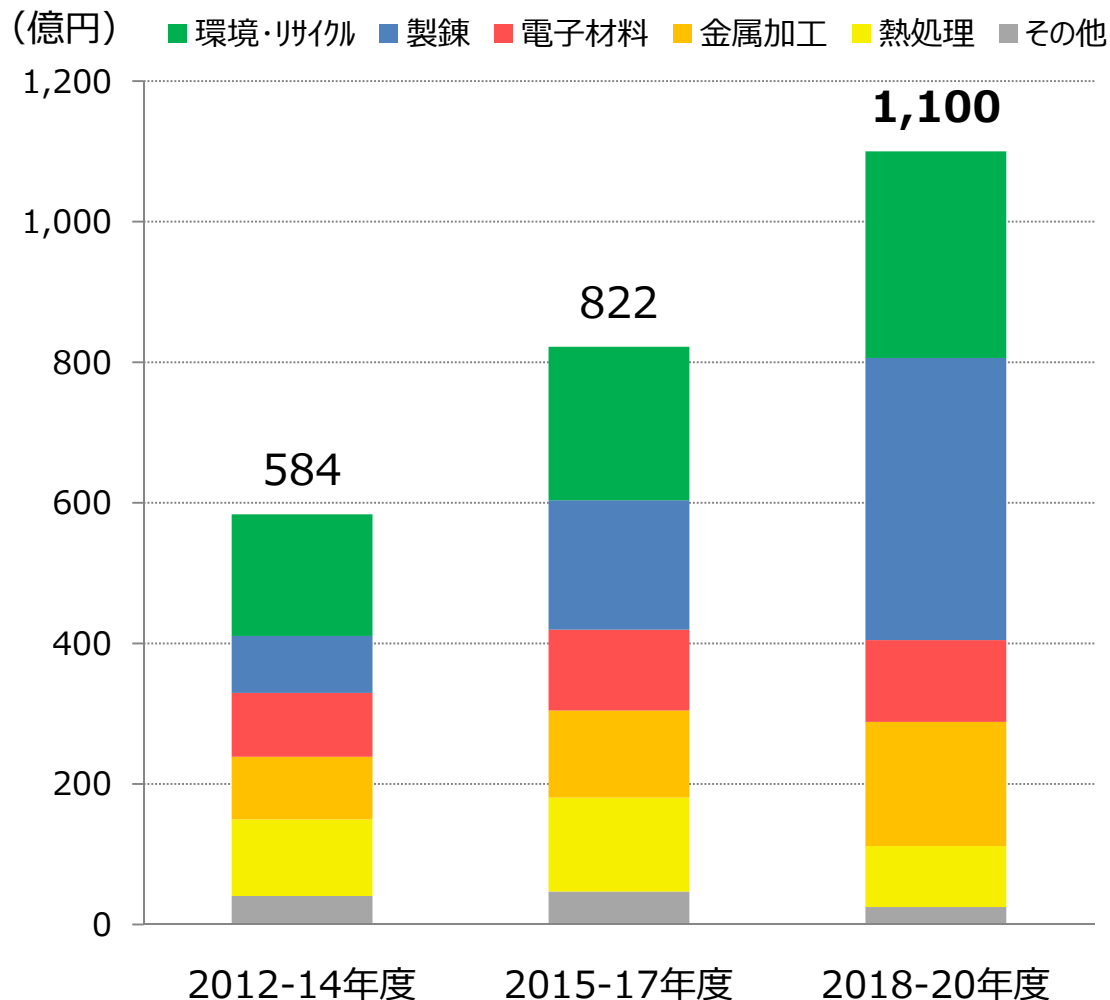
原料対応力強化



ロス・ガトス亜鉛鉱山プロジェクト(メキシコ)

経営資源の積極投入①

投融資（3年間計）



主な項目

環境・リサイクル

インドネシアでの新処分場建設
廃棄物溶融・再資源化の強化

製錬

メキシコでの亜鉛鉱山建設
亜鉛製錬の不純物対応力強化

電子材料

新規製品の量産化設備

金属加工

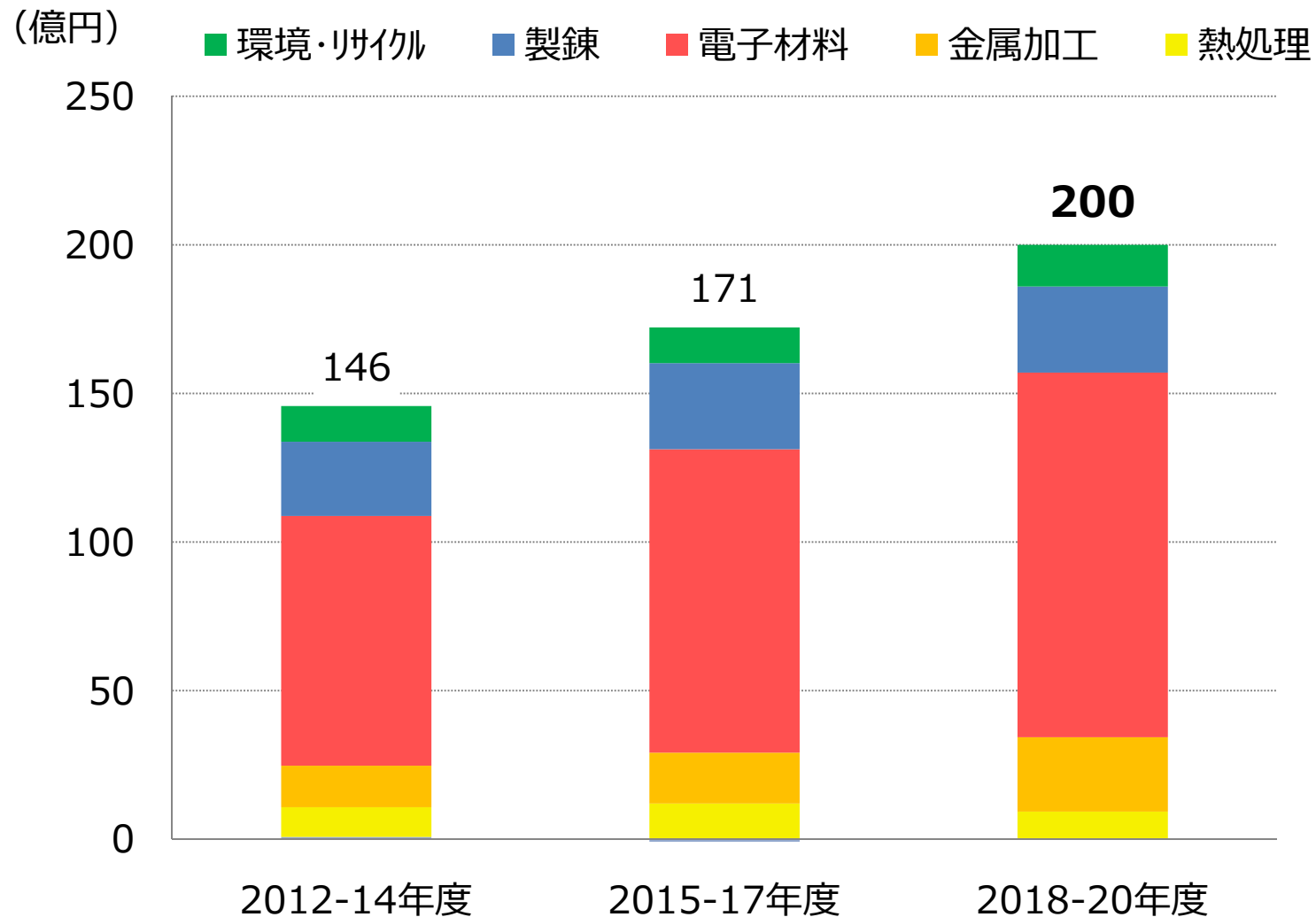
銅合金の生産能力増強

熱処理

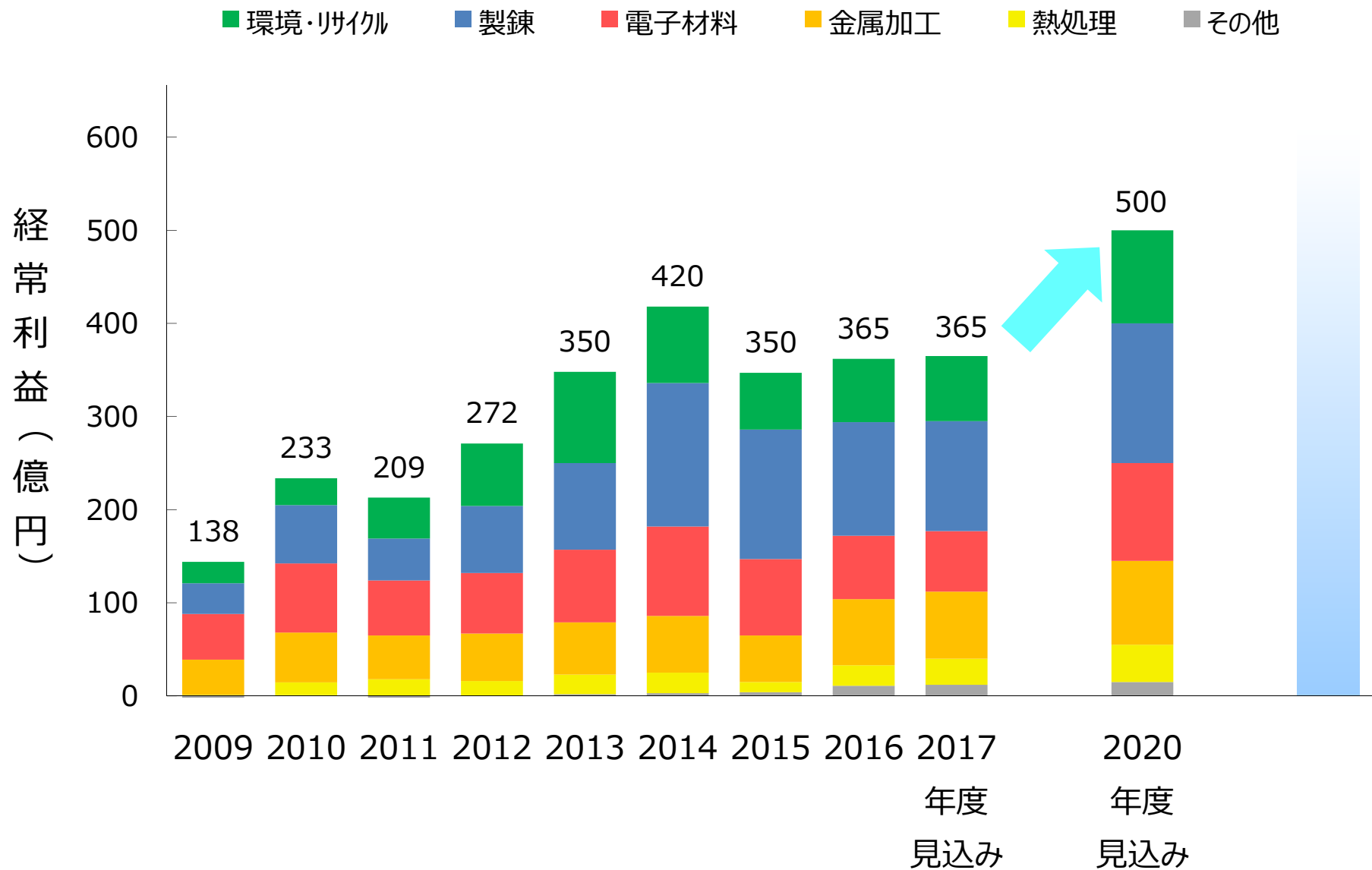
インドでの熱処理工場建設

経営資源の積極投入②

研究開発（3年間計）



成長の継続



(参考) 経営数値

	中期計画2020	2017年度見込み
経常利益 (2020年度)	500億円	365億円
営業利益 (2020年度)	450億円	340億円
ROE (2020年度)	12%以上	11%
ROA (2020年度)	10%以上	9%
営業CF (3年間計)	1,200億円	1,122億円
投融资 (3年間計)	1,100億円	822億円
研究開発 (3年間計)	200億円	171億円

■前提条件

	中期計画2020	(参考) 2017年上期平均
為替 (¥/\$)	115	111.1
亜鉛 (\$/t)	2,700	2,780
銅 (\$/t)	5,500	6,005

各セグメントの概要

環境・リサイクル

1. 事業戦略

- ・アジアNo.1の地位確立に向けて、既存事業の競争力向上を図り、各事業分野・地域においてシェア拡大と新規展開を加速する
- ・世界の環境動向を見据え、次の柱となる新規事業の礎を築く

2. 経営数値

経常利益：100億円（2020年度） 営業利益：100億円（2020年度）

投融資：294億円（3年間計） 研究開発：14億円（3年間計）

3. 主な施策

廃棄物処理：低濃度PCB事業のコスト競争力強化、廃棄物の溶融・再資源化拡大

土壌浄化：国内埋立処分場の建設、自然由来汚染土壌の現地浄化推進

リサイクル：海外集荷の強化、選別機能の充実による有価物回収の強化

東南アジア：新規拠点の開設や処理メニューの充実など廃棄物処理事業の拡大

新規事業：食品廃棄物リサイクルの事業化推進

製錬

1. 事業戦略

- ・製錬・リサイクル複合コンビナート機能を深化させ、事業を強靱化する

2. 経営数値

経常利益：150億円（2020年度） 営業利益：100億円（2020年度）

投融資：401億円（3年間計） 研究開発：29億円（3年間計）

3. 主な施策

貴金属銅：小坂製錬におけるスズの増産、原料対応力の強化

PGM：海外拠点拡充による原料集荷拡大、難処理原料への対応力強化

亜鉛：不純物対応力強化による年間22万トン生産体制の確立

タイ加工工場の増強と東南アジアへの拡販

資源開発：メキシコでの亜鉛鉱山の建設・操業開始

電子材料

1. 事業戦略

- ・新規事業を立ち上げ、新たなニッチトップ製品を育成し収益の柱とする
- ・自動車、医療などの成長市場へ事業領域をさらに広げる

2. 経営数値

経常利益：105億円（2020年度） 営業利益：100億円（2020年度）

投融資：116億円（3年間計） 研究開発：123億円（3年間計）

3. 主な施策

半導体：ヘルスケアセンサなどに向けた新規LEDの開発・量産化

電子材料：太陽光パネル向け銀粉で高シェアを堅持

機能材料：記録材料・キャリア粉・フェライト粉のシェア向上・生産能力向上

新規開発：医療・殺菌向け深紫外LEDの拡販、導電材料のラインナップ拡充

自動車向け新規磁性材料のサンプルワーク拡大・事業化

金属加工

1. 事業戦略

- ・自動車分野、IoT関連分野に注力し事業を拡大する
- ・事業環境変化に強い経営基盤を確立し、収益力をさらに高める

2. 経営数値

経常利益：90億円（2020年度） 営業利益：90億円（2020年度）

投融资：177億円（3年間計） 研究開発：25億円（3年間計）

3. 主な施策

伸銅品 ：自動車の電動化・知能化やIoT需要の拡大を捉えた銅合金の増産・拡販

中国・タイ・台湾工場での加工メニューの充実

めっき ：メキシコ工場立ち上げ、国内工場のライン最適化による競争力強化

回路基板：産業機械向けに加え電鉄・自動車向けの拡販、新規製品の開発

熱処理

1. 事業戦略

- ・現行ビジネスモデルの強みを発揮し、さらなる収益拡大を図る
- ・新規事業領域への取り組みを推進する

2. 経営数値

経常利益：40億円（2020年度） 営業利益：40億円（2020年度）

投融資：87億円（3年間計） 研究開発：9億円（3年間計）

3. 主な施策

- 工業炉 ：インド・北米などでの新炉拡販、日本・インド・中国の製造ネットワークの強化
 メンテナンス事業の収益力強化、新規設備の開発推進
- 熱処理 ：自動車関連需要の増加に応じた国内工場での能力増強
 インドの新規2工場立ち上げ、タイ・インドネシアでの能力増強
 国内工場の自動化・省力化の推進

DOWA

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。